

人工芝クローバートーフ取扱説明書

表面／● 施工方法(下地が土の場合)

裏面／● 施工方法(下地が土以外の場合)・お手入れについて・各商品の注意事項

施工方法／下地が土の場合

施工方法 ① 整地

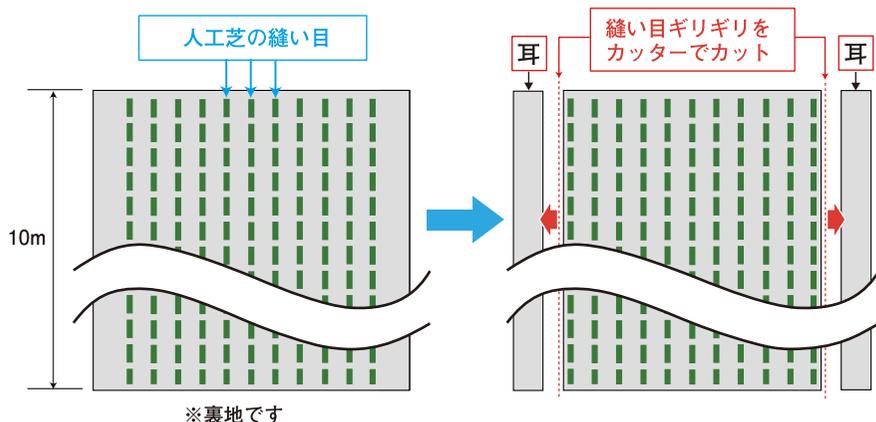
- ① 雑草・天然芝の除去を行う。下地が軟弱な場合はプレート or ローターで転圧をし、締め固める。ある程度不陸を直しておく。
- ② 砕石を約5cm程散布し、プレート or ローターで丁寧に転圧をし、不陸修正を行う。
- ③ 砕石が隠れる程度に薄く砂を散布し、転圧やトンボがけで更に不陸を修正する。

施工方法 ② 防草シート

- ① 防草シートを敷き、めくれない程度にピンで軽く固定する。(後工程で人工芝をピンで固定する際に、防草シートは更に固定されるので、この時は軽く固定するだけで良い。)

施工方法 ③ 人工芝開封後耳カット

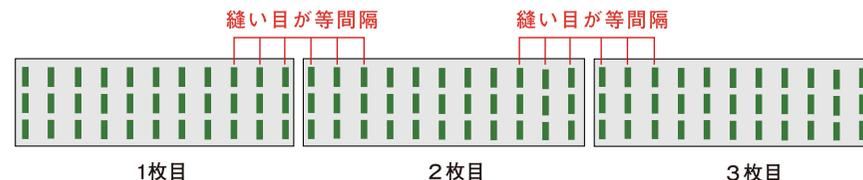
- ① 人工芝を開封し、人工芝の両サイドの基布の余り分(耳)を裏地からカットする。



※施工方法④と⑤は流動的に前後して同時に行います。

施工方法 ④ 仮敷き・ジョイント位置合わせ

- 人工芝を事前に決めた割付通りに仮敷きする。
その際、下記のようにジョイント(継ぎ目)部の縫い目を調整する。



- ※耳カットをしているので、一定間隔の隙間を空けて敷けば、均一に縫い目間隔を揃えることができる。
- ※カールタイプは芝の縫い目間隔が狭いため、隙間を空けず、ジョイントします。
- ※芝の向きがあるので、同じ方向へ張る。

施工方法 ⑤ カット・ピン固定(端部)

- ① 現場の形に合わせてカッターもしくはハサミでカットする。
- ② 人工芝の端部をピンで約50cm間隔で打ち固定する。

施工方法 ⑥ ジョイント

- ① 人工芝に接着剤がつかないように、ジョイント部の人工芝部分に養生テープを張り、あらかじめ保護する。
- ② ジョイント部をめくり、防草シートの上に20cm幅に接着剤を1m150gの目安で塗布する。
- ③ ジョイント位置合わせを行いながら、丁寧に両サイドの人工芝を接着剤の上に落とす。
- ④ 足踏みやローラーでジョイント部を転圧し、接着させる。
- ⑤ 接着剤が固まったら、養生テープを剥がし、ジョイント箇所を跨ぐようにピンを約50cm間隔で打ち、固定する。



ジョイント部に接着剤を塗布する様子

施工方法 ⑦ 仕上げ

- 熊手や手で芝を起こす。
- カットの際に出た芝を掃除機や箒で除去する。散水也可。
- 人工芝が浮いている部分があれば重点的にピンで固定する。

季節(気温)	待ち時間	貼付け可能時間
夏(25~35°C)	5~10分	30~40分
春秋(15~25°C)	10~20分	40~60分
冬(5~15°C)	10~30分	40~60分

※接着剤を塗ってから貼り付けるまでの待ち時間(オープンタイム)と貼り付け可能な時間(接着剤が固まるまでの時間)の一覧表、

施工方法／下地が土以外の場合

(ベランダや屋上などのコンクリート面)

施工方法 ① 下地処理

- 床の掃除を入念に行う。小さな砂や埃が接着を妨げる恐れがあるので、注意する。

施工方法 ② ショックパッド

- 仮敷きを行い、先に敷設面積に合わせカットする。
- 接着剤を700～750g/m²を使用し、全面接着を行う。

施工方法 ③ 人工芝開封後耳カット

- 下地が土の場合同様に耳カットを行う。
- 下地が土の場合同様に仮敷きを行う。

施工方法 ④ 仮敷き・ジョイント位置合わせ

- 接着剤を700～750g/m²を使用し、全面接着を行う。

施工方法 ⑤ カット・ピン固定(端部)

- 下地が土の場合同様にカット作業を行う。

施工方法 ⑥ ジョイント

- 下地が土の場合同様にジョイントを行う。

施工方法 ⑦ 仕上げ

- 下地が土の場合同様に仕上げを行う。



【両面テープで仮設する場合の注意点】

ベランダや屋上などのコンクリート面に敷設される場合、接着剤による施工を推奨しておりますが、接着剤が使用できない設置場所には仮設用として両面テープをご使用頂けます。しかし、温度変化により本製品の寸法変化が起きるため、当初の固定位置からズレが生じたり、ジョイント部分が開いてしまう恐れがございます。特にカールタイプのような芝丈が短いタイプはズレが目立ちます。ご了承お願い致します。

お手入れについて

- ゴミ掃除は掃除機(設定弱め)もしくはほうきをご利用できます。
- 芝が寝ている時は熊手や手袋を使い、芝は立つように芝方向の逆向きに撫でて逆立てて下さい。
- 飲み物をこぼした時は水で洗い流して下さい。

各商品の注意事項

- 本来の用途以外にはご使用にならないで下さい。
- 人工芝が滑る可能性がありますので、置敷きはしないようお願いします。
- 排水穴から雑草が生えてくる場合がございます。事前に防草シートを敷くことを推奨致します。
- 製造過程の都合上、色、サイズ、形に多少バラツキがございます。また、端部分の芝糸がほつれやすくなっております。
- 稀に裏面に芝糸の結び目が見られますが、使用上問題はございません。
- 夏期の高温下では、製品表面が熱くなり火傷する恐れがあります。
- 加熱等に変形する恐れがあります。また火のそばでのご使用は火災の原因となりますので、ご注意下さい。
- 水滴や凍結などが原因で、人工芝の表面が滑りやすくなる場合がございます。
- 商品の性質上、人工芝が伸縮する場合がございますので、下地への固定作業が必要になります。
- ガラスなどに反射した太陽光により人工芝が溶ける恐れがあります。
- ショックパッドは安全性を保證するものではありません。